

(6) 宗像市

対象地域	宗像市	実施主体	宗像市
目的・ねらい	超小型モビリティの機能分担、駐車空間、走行性等の検証		
取組内容	宗像市における実証実験の概要		
	<p>・平成 23 年 2 月中旬から日の里団地を主な舞台として、実証実験事業を行う予定である。</p> <p>・日の里団地は、現在は約 1 万 3 千人の人が暮らしている。高齢化率は 26.1%（平成 22 年 3 月末現在）と市平均を上回り、今後は高齢化が急速に進行することが予想されている。また、開発前は丘陵地であったため、比較的坂道が多い団地でもある。</p> <div data-bbox="743 801 1091 1227" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">車両イメージ「RODEM（ロテム）」²⁾</p> <p>・日の里地区住民を中心に、希望する世帯に 1 週間、実験車両「RODEM（ロテム）」を貸し出し、通勤や買い物など日常生活に利用してもらう。</p> <p>【実験の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験期間（予定） <p>日の里地区・・・2月中旬～3月中旬</p> <p>体験走行会・・・2月24日・25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験場所：日の里地区を中心とした同地区の周辺地区 ・サンプル：合計 100 名程度を予定 ・本実証実験における検証内容 <ul style="list-style-type: none"> ○ 既存の各車両と超小型モビリティの機能分担 ○ 様々な利活用場面に最適な車両の走行性 ○ 路外や路上での駐車空間 ○ 超小型モビリティの走行性や自動車の追い越しの現状 ○ 近距離の移動に小型モビリティを利用してもらい、マイカー利用が抑えられるのか。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小型モビリティを利用することによって今までの暮らしにどんな変化があるのか。 ○ 小型モビリティ利用による外出機会の増減環境対応車や CO2 排出抑制について、どれだけ理解を深めてもらえるか。
課題	—
出典	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「特集 環境対応車（電気自動車等）を活用したまちづくり」『新都市』、Vol.65、No.1（2011年） 2) News Release ユニバーサルビークル RODEM バーダセンター開発第一弾！コンセプトモデル発表 http://veda-robot.sakura.ne.jp/sblo_files/veda-robot/image/RODEM20News20Release.pdf